

とうとう 日本切手は 1 万種

日本切手 10000 種を整理

はじめに

10 年前から年間発行の切手を整理しつつ、私製 DATABASE に登録している。始めて、15 年先には日本切手は 1 万種になるだろうと考えた。しかし、それより 5 年も早く 2019 年発行切手を整理しているうちに 1 万種を超えた数字を目にすることになった。この機会に日本切手の発行推移と内容を整理、検討した。

対象とした切手

対象の種類は下記を考慮して整理した。

1. 印刷された図柄で整理し、目打の有無は考慮し、ノリの有無は考慮しない。
2. 小型シート切手の図柄が他に発行されていない切手であれば、その切手は対象とする。
3. 在外地局、電信、軍事切手等は対象外とする。

種類とは別に発行件数も整理した。

件数は発行年月日、発行内容から整理した。発行日が同じであっても、発行内容が異なる場合は発行件数を 2 件と整理した。例えば、1949 年 4 月 1 日発行の国土緑化と長野平和博の切手は発行件数を 2 件と整理した。

発行種類と発行件数

上記の基準で整理すると 2019 年末までに 2616 件、10025 種の切手が発行されていた。121 年間の発行の推移は図 1 の様になる。戦前は普通切手の発行の動きであり、戦後は特殊切手の件数と種類の双方に変化がみられ、1990 年以降は記念切手以外の発行が大きな変化になっていると考える。1 件当たりの平均発行種類を整理すると図 2 のようになり戦前、戦後と異なる。戦前は普通切手が同一日に多種発行されている。料額順位記載されたカタログでは気づきにくい、発行順に整理すると普通切手が集中的に発行されていることが多い。この時期、普通切手は特殊切手

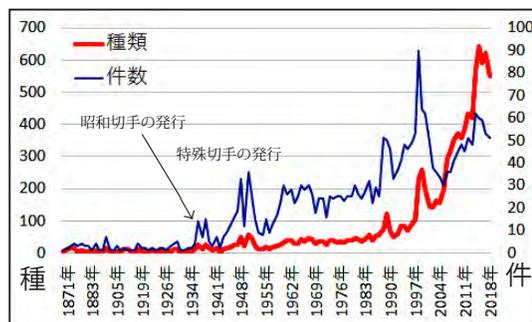


図 1. 切手の発行件数、種類の年推移



小型シートから整理対象になった切手 42 種の中の 10 種

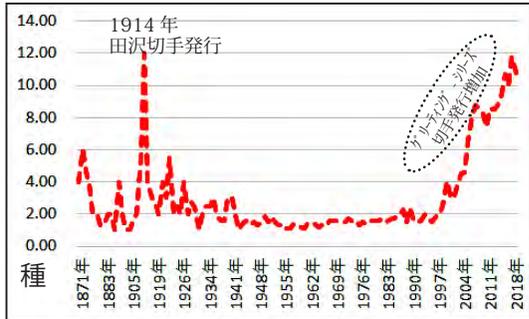


図2. 1件当たり平均発行種類推移

の3倍も発行されている(普通切手137種、特殊切手41種)。1899年には菊切手13種、1914年5月20日の一日に田沢型旧大正毛紙切手が13種が発行されている。特殊切手が普通切手より種類が多く発行されるようになったのは1948年以降のことである。1件当たり発行種数の割合は1990年を境に図3のように切手発行の姿が変化している。

◎特殊切手等を整理する

切手発行増加の内容を知るため、カタログで使用されている十把一絡げな言葉の特殊切手でなく、かなり主観的にはなるが、発行目的別に分類し、整理してみた。例えば、国立、国定公園、文化人切手等をシリーズ切手、趣

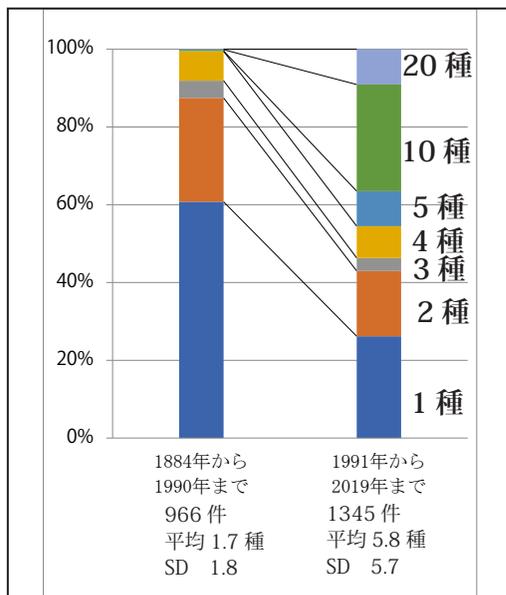


図3. 1件当たり発行種類割合の比較

味週間等の長寿切手を毎年切手、航空切手は普通切手に分類した。また、寄付金付切手、啓蒙・宣伝切手、料額変更切手も分類項目とし、ふるさと切手も上記項目に分類し、できないものはふるさと切手として分類した。目的別に整理すると表1、図示すると図4のようになり、日本切手の半数はگریティング切手、シリーズ切手で占められ、گریティング切手の1件当たりの発行種の多いこと、シリーズ切手が種類で非常に多く発行されていることが分かる。また、趣味の切手の代名詞である記念切手はどうか件数で全切手の25%を維持しているが、種類数では20%以下である。

表1. 発行目的別発行件数、種類と1件当たり平均種類

切手種	件	種類	平均種類
シリーズ切手	645	3411	5.3
記念切手	666	1728	2.6
گریティング切手	131	1710	13.1
ふるさと切手	405	1144	2.8
毎年発行	297	948	3.2
普通切手	286	533	1.9
年賀切手	81	178	2.2
販売品	14	104	7.4
寄付金	33	93	2.8
啓蒙・宣伝	24	85	3.5
航空切手	13	36	2.8
料額変更	8	28	3.5
宣伝・啓蒙	12	27	2.3
合計	2615	10025	3.8

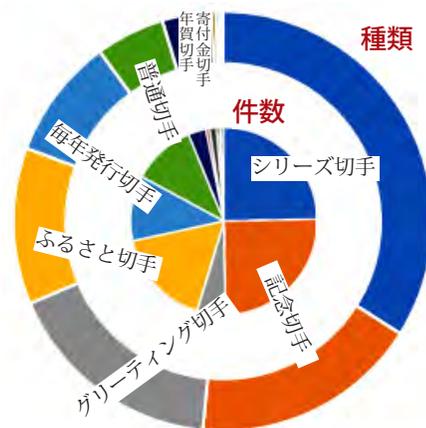


図4. 発行目的別発行件数、種類の割合

◎発行目的別に見た特殊切手発行の経年変化

発行割合の経年変化をみると図5のように普通切手にはじまり記念切手が増え、シリーズ切手の国立公園切手をはじめ、戦後に、現在まで続く国体、国土緑化等毎年発行の長寿切手をはじめ、シリーズ切手が増加している中、1990年代ふるさと切手が新たに2000年代まで続き、グリーンング切手に交代し、この間、記念切手の発行割合が減少していることを示している。全体を通じシリーズ切手が日本切手の主役だと考えざるを得ないが、2000年以降短期間で発行が非常に増えているグリーンング切手の発行に注意して行く必要を感じる。

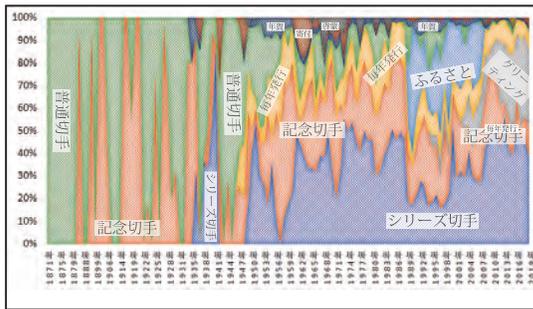


図5. 目的別切手発行種類割合の経年推移

◎グリーンング切手を整理する

販売品という滑稽な名称で発行された15件108種を除いて131件1710種をグリーンング切手として整理した。



1995年発行最初のグリーンング切手から整理したのが表2である。単独テーマとして関連付けの難しい内容には伝統色、グリーンングファッション、日本の絵画、伝統文化の世界等でシリーズ

表2. 発行内容別発行件数、種類 切手と区別しに

内容	件数	種類
季節	45	622
キャラクター	34	618
干支	12	120
ハッピー	8	116
その他	11	107
ライフ・花	5	65
国際文通	4	36
文通週間	4	12
差額用	4	8
シンプル	4	6
合計	131	1710

表3. キャラクター別発行

キャラクター	件数	種類
サンリオ	13	226
ディズニー	8	160
ポストマ	8	143
スヌーピー	3	48
ドラえもん	2	25
ピーターラビット	2	40
ミッフィー	2	40
ムーミン	2	40
ぼすくま	1	20
マリオ	1	10
リサとガスパー	1	20
リラクマ	1	20
星の王子さま	1	15

シール切手と捉えがちだが干支、文通週間、国際文通、海外文通差額用等25件、169種が目打切手で発行されている。

表4. シーズ内容別発行

シリーズ分野	件	種類
動植物	87	485
旅行・観光	42	350
自然風景	92	241
自然保護	38	154
建築全般	30	136
世界遺産	32	263
絵画	33	123
文化財	27	69
地方自治	48	282
都市	3	17
伝統事柄	56	350
アニメ	20	195
音楽	21	66
科学技術	7	56
交通手段	22	132
児童文化	15	92
人物	30	49
切手	6	20
天体	14	146
歴史記録	22	185
合計	645	3411

◎シリーズ切手を整理する

戦前の国立公園、ふるさと切手のシリーズ切手等も含めてシリーズ切手を整理すると79のシリーズで645件、3411種の切手が発行されている。シリーズの内容は広範囲で分類が困難であるが表4のように分類を試みた。人気ある動物、鳥、花等の動植物、

表5. 発行の多いシリーズ

シリーズ名	件数	種類	1件平均種
1 地方自治法60周年記念	48	282	5.88
2 アニメ・ヒーローイン	20	195	9.75
3 旅の風景	18	180	10.00
4 20世紀デザイン	17	170	10.00
5 第3次世界遺産	12	120	10.00
6 おもてなしの花	12	116	9.67
7 My旅切手	7	115	16.43
8 ふるさと心の風景	10	100	10.00
9 第2次世界遺産	10	100	10.00
10 鉄道	6	100	16.67

国立、国定公園、観光切手などの自然環境、世界遺産、建築関係の文化遺産等の内容で半数を占めている。また、発行の多いシリーズ切手を整理したのが表5である。

シリーズ切手には他の切手にない整理すべきことがある。それは発行期間と発行間隔である。79種のシリーズ切手がいつからいつまで発行されたかを図示したのが、図6である。一見して右下になるほど傾斜がきつくなっている。これは1年に発行されるシ



48件282種の地方自治法60周年記念シリーズの1種

リーズが多くなっていることである。2010年までは多くて4シリーズ発行であったのが、2012年以降は10シリーズ以上になり2016年は18という多くのシリーズが発行されている。1年に18シリーズ

発行されても各1種であれば整理もつくが、10種20種も発行されるのが理解できない。2008年にふるさと切手にシリーズが発行されたことも注意される。また、この時期から横に少しづつ長くなって4年、5年と長期に発行される傾向もあるようだ。横長にプロットされている国立、国定公園、新文化人、アニメヒーロなどは発行が長期の切手であるが、第3次海外遺産はユネスコの指定次第ということで断続的な長期のシリーズになっ

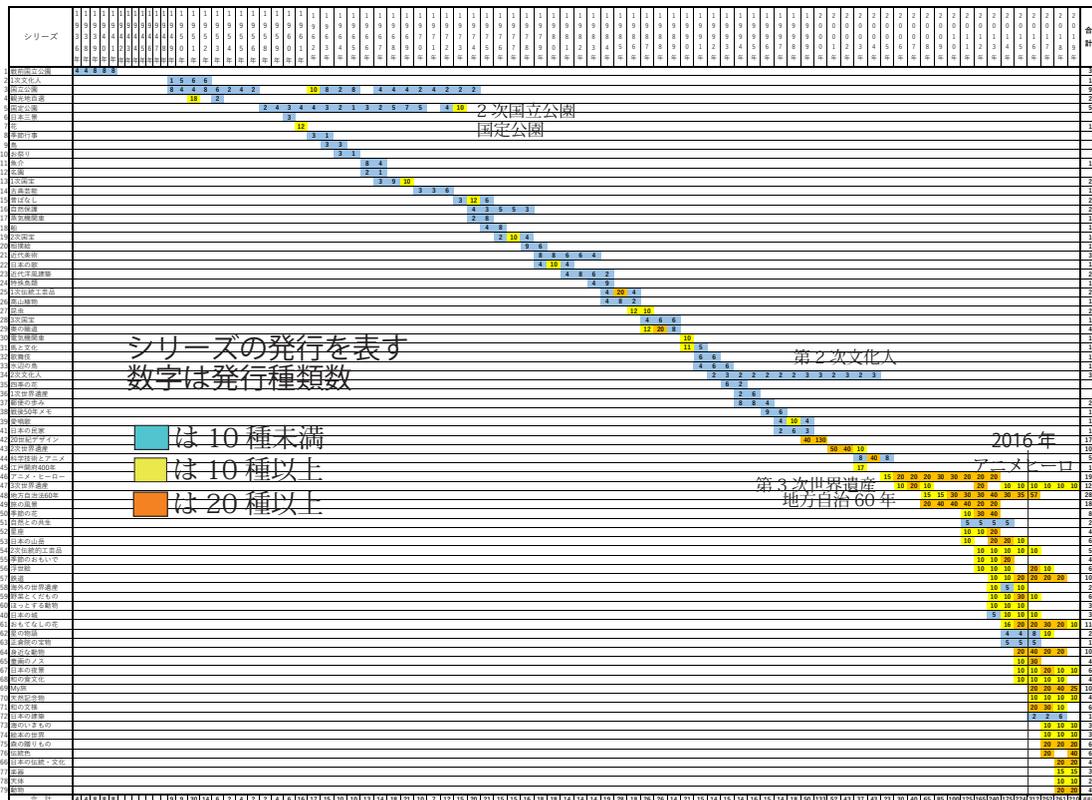


図6. シリーズ切手の発行年の状況

一部発行継続中シリーズも含む 電子版ではズームインでご覧ください



発行を楽しみに待っていた頃のなつかしいシリーズ



2017年発行の17シリーズ切手の一部15種
発行が恐ろしく思えるようになり収集放棄

ている。発行間隔で図6からはつかみずらいが短期間で日をあまり空けないで発行されたシリーズに江戸開府、懐かしい最初の花切手、SL、EL 機関車、昆虫、特殊鳥類などが1～2ヶ月間隔ぐらいで発行されている。発行間隔はシリーズ発行の少ない時代は当然間隔は2ヶ月前後であるが、2000年以降は1年以上も空けて、忘れかけたころの発行が多くなっている。発行の種類数の検討に加え、少シリーズ短期間完結型発行か、多シリーズ長期完結型発行、どちらが望ましいかも検討の必要がある。シリーズ切手ではシール切手は件数で10%、種類で20%に止まり、ゲルティン^g切手と異なって目打切手がまだ多く



もっとも短い2日という間隔で発行された文化人シリーズ切手の 正岡子規 菱田春草の切手



6か月に18種発行 → 19ヶ月後
観光地百選シリーズ

発行されている。

この整理で今まで見過ごしていたことに気付かされた。文化人切手はすべて1種ずつ発行されていると理解していたが、寺田虎彦、岡倉天心が同日に発行されていること、正岡子規、菱田春草が2日違いで発行され、しかも菱田春草の発行日はなんと誕生日であることに気付かされた。また、愛唱歌シリーズでめだかの学校と青い山脈が7日違いで発行されているが、他の8件は2種同日発行である。さらに、観光地百選の9件18種が1951年にすべて発行されているのに最後の錦帯橋2種は台風で橋が損壊し、修理なった19ヶ月後の1953年に発行という切手もみられる。

◎記念切手を整理する

一般的もっとも親しまれている言葉である記念切手は666件1728種と件数で一定の割合を占めているが、徐々に割合は低くなっている。図7のように件数で20%、種類で10%と記念切手の存在は薄くなっている。

次に666件を通してみると、発行内容で国内の事柄、国際的な事柄に別けられる。

国際的事柄はゆっくり整理しないと見過ご



図7. 記念切手発行割合の推移

3.3 億

表 7. 国際年、日設定記念切手

国際地球観測年				
飢餓救済運動中間年				
国際協力年				
国際観光年				
国際人権年				
国際赤十字献血年				
国際婦人年				
国際児童年				
世界コミュニケーション年				
国際青年年				
国際平和年				
国際居住年				
国際識字年				
国際宇宙年				
国際家族年				
国際高齢者年				
ボフテア国際年				
国際極地年				
世界津波の日				
国際子どもの本の日				
国際音楽の日				
世界こどもの日				

してしまう 44 の事柄である。国際年・日、国際機関の設立、創設記念関係である。ILO、UPU の設立各 2、国連・関係機関 4、赤十字設立・思想 3、南極条約 3 と、日常忘れがちな国際年・日を発行内容とした切手の多いことが表 7 のように確認できる。

次に、国内事柄 622 件、1637 種を発行内容で整理すると表 8、図 9 の様になり、外交事柄、国際会議・大会等の諸外国と関係する事柄が 40% を占めている。目立って多いのが国際スポーツ大会 50 件、医学関係 26 件、環境・自然保護関係 19 件、政治関係 12 件などであり、ほとんどが公的団体、機関のものである

分野	件数	種類
国際会議・大会	176	390
外交・国際親善	54	266
社会インフラ	52	104
社会施設・制度	48	84
文化施設・活動	41	138
博覧展覧大会	37	106
法律制度	31	41
学術施設・制度	28	91
皇室	24	60
郵便通信	23	69
国政	22	61
教育施設・制度	13	23
その他	73	204
合計	622	1637

が、ロータリー、ライオンズ、スカウト等の民間団体関係が 17 件と異質な扱いを感じさせる事柄がある。インフラ関係では鉄道・道路関係の交通インフラが大部分を占め、より

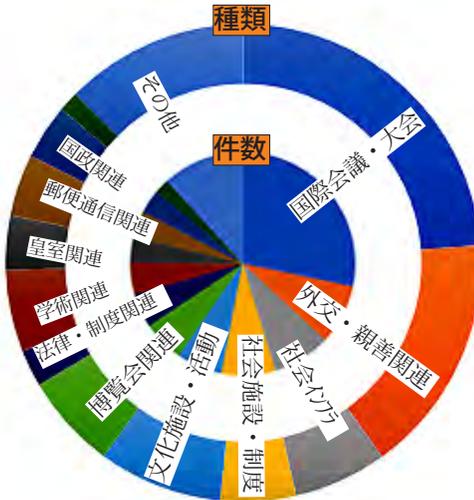


図 9. 記念切手発行内容割合



生活に近い電気、ガス、上下水道のライフラインに関するものがない。

各事柄の記念の捉え方では周年記念が 295 件、開催・実施が 283 件、完成・開通・竣工・開始が 76 件、特定の日制定 10 件と周年での記念発行が多くなっており周年別にみると表 9 のような周年分布であった。そんななか終了を捉えて発行されたものが 1 件あり

周年	件数
— 50 年	40
50 年	87
100 年未満	23
100 年	97
150 年未満	6
150 年	20
200 年未満	0
200 年	1
500 年未満	10
500 - 1300 年	10
合計	294
別 2600 年	1

注意された。また、周年を内容とした切手が 295 件、879 種と記念切手の半数近くが周年をとらえて発行されていた。周年数としては 100 年、50 年、150 年、75 年の順で多く、範囲は 1300 年から 10 年までと広い (寄付金切手に 1 周年あり)。ヨ一

表 10. 周年の起点時代

時代	件数
飛鳥時代	1
奈良時代	3
平安時代	3
鎌倉時代	4
安土桃山時代	3
江戸時代	30
前期	8
後期	22
明治時代	115
前期	85
後期	30
大正時代	24
昭和時代	107
戦前	24
戦後	83
平成時代	4
合計	294

と 500 年以上の周年記念での発行が少ない。更に、発行年から周年を逆算し記念事柄年を整理したのが表 10 である。社会に大きな変化が生じた明治前期、戦後に記念事柄が集中している感であるが、年毎に見ると非常に多い年がある。例えば、1890 年 13 件、1972 年 10 件、1946 年 9 件等である。しかし、これ

ら年の事柄を整理すると同じ事柄が周年を変えて複数回周年記念として発行されることがわかる。1890 年の 13 件は議会開設記念が 6 件 (70 ~ 120 周年)、電話創業 2 件 (75、100 周年) を含んで実際は 7 件の事柄である。このように複数回発行事柄を洗い出してみると 54 の事柄 151 件が複数回発行の周年切手であり、全記念切手 666 件の 23% が複数回発行された事柄の切手である。回数の多いものを表 11 に示すようにかなり偏った発行の傾向を感じさせる部分がある。

このように記念切手を整理して考えさせることがいくつかある。まず、世界的視野での記念事柄の選択の狭さである。ドイツ、フランスに見られる国際気象観測協力、国際刑事機構、難民協定、国際自然保護連盟、環境保護、国際原子力機関 (IAEA)、WHO、アムステルダム協会など世界規模で抱える問題を扱った切手を期待したい。国内ではスポーツ関係が国体切手を除くと少ない。国際関係は 50 件も発行されているのが、国内関係は野球 5 件、競馬関係 4 件に過ぎない。せめて各種全国大会、インターハイ、インカレなども対象に検討してほしい。また、戦前の記念切手を除いても負の記念もしくは検討課題として未来に意味を持たせてくれた切手がある。郵政民営化関連、原子力船進水、高速増殖炉竣工、高速増殖炉もんじゅ臨界等は問題の風化を防いでくれる切手であろう。また記念切手を見ていると、各種法令の基礎、憲法に関連した切手発行がないこと、政治家を大きく図柄にした条約記念切手等、政治、政治家の存在を感じざるを得ないのは私の偏屈さであろうか。

さすがにシール切手は少なく、件数で 6 件、1% であるが、国際切手展、南極観測再開、プロ野球誕生など多種類発行であるため種類では 66 種、4% になり、すべてに変形切手が含まれている。

表 11. 複数回発行事柄の一部

事柄	起年	件数
慶応大学創立	1858 年	2
灯台	1868 年	2
北海道	1868 年	2
明治	1868 年	2
郵便創始	1871 年	4
議会開設	1890 年	6
電話創業	1890 年	2
ILO 創設	1919 年	2
鉄道	1942 年	4
世界人権宣言	1948 年	5
南極条約	1961 年	2
沖縄復帰	1972 年	7
日中国交正常化	1988 年	4
国際切手展	***	8
サミット	***	7
ライオンズクラブ国際大会	***	4
世界防災会議	***	3
ユニバシアード	***	3
ロータリー大会	***	3



◎切手の発行量（発行枚数）

最後に、切手の発行量を整理した。ただし、発行量のつかめない普通切手、一部航空切手を除いた範囲で整理を試みたが、1997～99年のグリーティング切手3件15種、1999年日本プロ野球セパ誕生50周年12種、2003年グリーティング10種、2003年郵政公社設立10種、2018年グリーティング（シンプル）1種と販売対象となった年賀小型シート切手は発行数不明とした。その結果 2311件9427種で623億枚（6228,330万）が発行されていた。年間発行量の推移は図10のようになっており、特徴的な変化年と発行切手を示すと下記のようなことがわかる。



3. 1958年3億枚に迫る切手が発行され、その後、切手量増加は変動しつつ2000年まで増加になる。1958年は文通週間を除きすべてが1000万枚以上と1桁異なる発行の特記すべき年である。



4. 1968～75年の山型は郵便番号、交通安全運動、貯蓄増強、国土緑化の宣伝啓蒙切手が億単位で14件発行されたことによる。

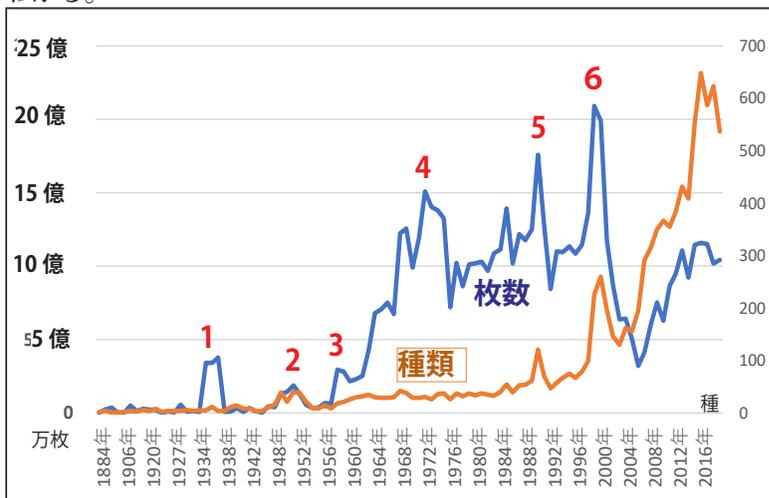


図10 年間切手発行枚数の推移 下に番号の突出の内容

1 戦後4、5年までは年間1億枚まで発行されてないが、1935、36、37年の3年は年賀切手が3億枚発行されて、突出している。



2. 1948、49、50年で1億枚を超えているのは、この時期には珍しい3000万枚発行された文化人切手4種、応挙のトラ年賀切手の発行が小さな突出に影響している。



5. 1990年は都道府県別花切手2億、ふみの日1億、趣味週間9800万、天皇即位など8000万発行によって突出した。



6. 1999～2000年に20世紀デザインシリーズ11億、1999年にふるさと切手の異常発行9億弱という発行量がこの最高峰を出現させた。



2001年以降 種類が増えるが枚数は減るという発行に移行することがわかり、この傾向が進み2004年あたりで、このグラフ上では種類、枚数がクロスし切手発行の変化が明らかである。

さらに、年代別に発行枚数別の割合を整理すると図11の様になり、1960年以降10年毎で切手発行の変化していることがより明確にわかり、特に2000年以降の少量多種類切手発行への変化が明確にみられる。

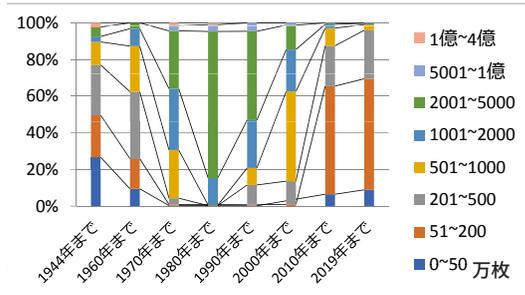


図11 切手発行枚数の年代別割合の推移

次に、切手の種類別に発行枚数の割合を比較したのが図12である。グリーティング切手の小数発行の多いこと、記念切手の発行枚数に幅があること、年賀、啓蒙・宣伝切手がその発行目的から他に比較し大量発行がおおいことがわかる。

次に、具体的に発行量の多い切手を画像で確認してみた。

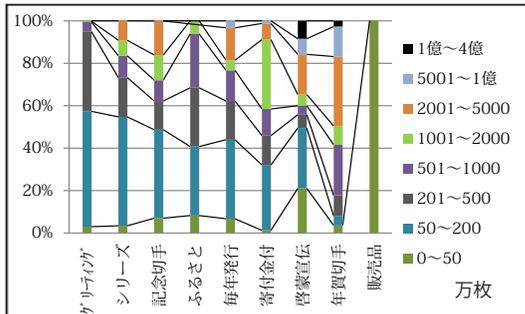


図12 切手種類別発行枚数の割合の比較

●日本切手 発行量 BEST10



以下 1968 郵便番号、昭和 42 年賀、交通安全、交通安全運動、貯蓄増強宣伝、1971 郵便番号となる。

●シリーズ切手発行量 BEST10 実際 22



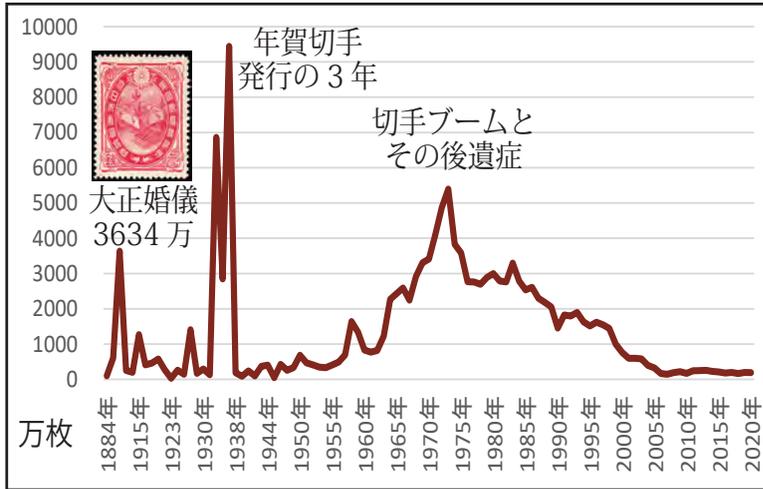
以下 1968 郵便番号、昭和 42 年賀、交通安全、交通安全運動、貯蓄増強宣伝、1971 郵便番号となる。

●記念切手の発行量 BEST15



リビッラの2種と1970年代発行の切手が並ぶ。皇室関係切手は発行時期の他の切手に比較し多いことがわかる。1989年天皇賞100回が5000万発行されていることが理解できない発行である。

更に、発行枚数が明らかな9753種での年平均発行枚数をグラフにしたのが図13である。第1は1900年1種発行の大正婚儀3634万の山、第2は3億発行年賀切手の影響の山、第3は1950年代始まり1974年に頂に達した切手ブームの後遺症の大きな山である。この山を探検する意味で切手趣味週間切手の発行枚数推移を図示したが1990,91年の突出は理解できない(図14)。最近の趣味週間1



種の発行枚数が月に雁、見返り、つまらぬグリーティング切手より少なくわが世代には理解不能である。

図 13 切手 1 種の平均発行枚数の推移

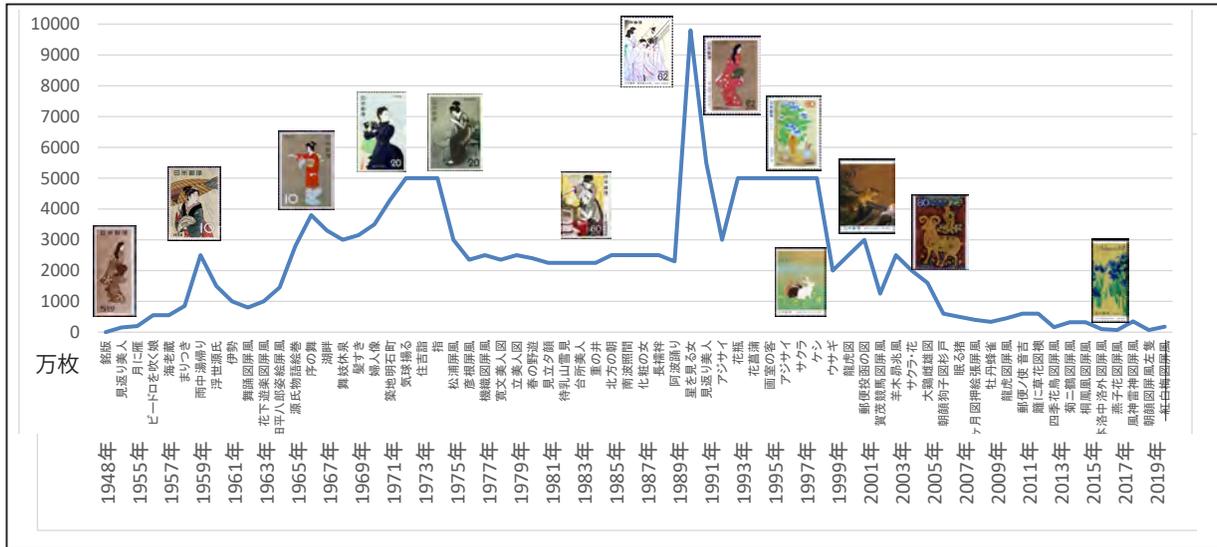


図 14 趣味週間切手 1 種の発行枚数の推移